

平成29年の消防概要

中濃消防組合管内における平成29年中の火災、救急・救助及び通信・指令の概要は、次のとおりです。

火災件数は、43件で前年に比べ4件増加しています。

また、火災種別ごとにみると建物火災16件、林野火災2件、車両火災5件、その他の火災が20件発生しました。前年に比べその他の火災が7件増加し、建物火災、林野火災及び車両火災がそれぞれ1件ずつ減少しています。

損害額は、15,234千円で、前年に比べ7,530千円増加しました。

昨年は死者、負傷者ともにありませんでしたが、今年は死者は3名、負傷者は4名ありました。

火災件数を月別にみると、3月に9件と最も多く、次いで5月に6件、12月に5件発生しました。4月に発生した火災は2件でしたが、2件とも全焼の建物火災であったため損害額に大きな影響を与えています。

出火原因では、「たき火」が11件、次いで「たばこ」が3件、「こんろ、火入れ、放火、電気機器」が各2件の順となっています。過去においても「たき火」、「たばこ」は出火原因の上位を占めていますが、近年では、「放火」や「放火の疑い」が出火原因の上位を占めるようになってきています。

救急出場件数は、4,442件で前年に比べ250件増加し、搬送人員も217人増加しました。

救急種別ごとにみると、「急病」が最も多く全体の約63%を占めており、次いで「一般負傷」、「交通事故」となっています。

搬送人員については、65歳以上が全体の約64%を占めており、中でも「急病」と「一般負傷」の割合が高くなっています。

傷病程度は軽症が約36%、入院が必要な中等症が約47%、重症以上が約17%を占めています。

救助出場件数は、69件で前年に比べ7件増加しましたが、救助人員は19人で前年に比べ18人減少しました。

事故種別ごとにみると、交通事故が40件と最も多く、半数以上を占めています。

119番受信件数は、5,916件で、このうち、火災・救急などの災害通報は4,172件でした。また、119番受信件数のうち、携帯電話からの通報は2,195件で、前年に比べ140件増え、年々増加の一途を辿っています。

緊急通報システム(一人暮らし高齢者宅等に設置された非常通報装置)は、現在481台設置されています。通報は433件で、前年に比べ18件増加しました。このうち救急車の出場は27件で、前年に比べ3件減少しました。

救急医療情報システム(病院案内)は、966件の問い合わせがありました。特に小児科が488件と最も多く、次いで内科が153件、整形外科89件、外科62件の順となっています。

携帯電話によるメール119番通報(聴覚や音声に障がいのある人)は、32名の方が登録されていますが、緊急通報はありませんでした。また、FAX119による通報もありませんでした。